

深谷市立本郷小学校 特別の教育課程（小学校）編成方針（例）

1 特別の教育課程の内容

（1）概要

小学校1年生から英語活動を導入し、英語に触れさせ、慣れ親しませ、人との豊かなコミュニケーション能力の素地を養う。

特別の教育課程を編成し、外国語指導助手 ALT を活用しながらコミュニケーションを基盤にした英語活動を実施することで、児童の英語に対する興味・関心を高め、国際教育を推進していく。

（2）教科、時数等

小学校第1、第2学年において「英語活動」を行う。

- ・第1学年は生活科を34時間削減し、34時間の「英語活動」を行う。
- ・第2学年は生活科を35時間削減し、35時間の「英語活動」を行う。

2 特別の教育課程の編成

小学1学年・第2学年で「英語活動」の時間を週時程表に位置づけ実施をする。小学校第1学年で生活科34時間・第2学年で生活科35時間を英語活動（主に学級担任と外国語指導助手 ALT とのティームティーチング）の時間に充てる。小・中一貫した英語教育を一層推進させる。

3 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

社会や経済のグローバル化が急速に進み、情報技術を著しい発展を遂げている今日、コミュニケーションとしての英語の重要性が増し、英語を国際語として使いこなせる人材の育成が求められている。深谷市では、早期から英語に触れさせることを通して、豊かなコミュニケーション能力の育成を目指している。今後グローバル社会に対応できる人材の育成に向け、小学校第1学年・第2学年で英語活動を実施し、小学校、中学校9年間の切れ目のない外国語教育の充実・推進を図っていく。

4 令和7年度深谷市立本郷小学校の方向性

市の方針を受け、本校においては児童の言語活動を中心とした授業づくりの工夫に重点的に取り組む。英語を用いて相手のことを理解したり、自分のことを伝えようとしたりする活動を通して、本校学校教育目標「思いやりのある子 よく考える子 がんばる子 郷土を愛し誇りに思う子」の実現を目指していく。